

脳神経外科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 1p/19q FISH キットを用いた脳腫瘍の診断キットの有用性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 畑中 佳奈子・先端診断技術開発センター・特任講師

[共同研究機関名・研究責任者名] 株式会社常光 代表取締役社長 服部 直彦

[研究の目的]

株式会社常光が開発した 1p/19q FISH キットについて、グリオーマにおける本 FISH キットの有用性に関して検証する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

グリオーマの患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日の間に、手術が施行された方。

○利用する検体・カルテ情報

検体：手術によって切除され、その後標本作製のための処理をした脳組織（ホルマリン固定し、その後パラフィン（いわゆるロウ）に埋めた組織）の一部

カルテ情報：診断時年齢、性別、診断名、採取部位、採取方法、画像検査情報（CT、MRI など）、病理診断名

この研究の解析は、株式会社常光で実施します。上記の検体は、解析のために株式会社常光に送付します。上記のカルテ情報は、患者さん個人を特定できないよう研究番号に変換し、電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2024年3月31日（登録締切日：2019年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができ

ます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 先端診断技術開発センター

担当医師 畑中 佳奈子

電話 011-706-7933 FAX 011-706-7933